

## 令和2年度第1回高石市国民健康保険運営協議会書面協議

### ・案件

議題1 令和元年度決算見込み及び国保財政健全化への取組みについて

(報告)

議題2 データヘルス計画(第2期)の概要と進捗状況について

(報告)

以上

## 歳入額比較（平成30年度決算・令和元年度決算見込）

（単位：円）

区分		平成30年度 決算額	令和元年度 決算見込額	差額	伸び率
国民健康保険料	現年度分	1,127,293,677	1,155,690,833	28,397,156	2.5%
	過年度分	48,456,756	49,548,953	1,092,197	2.3%
	計	1,175,750,433	1,205,239,786	29,489,353	2.5%
一部負担金		0	0	0	0.0%
使用料及び手数料		508,600	457,995	-50,605	-9.9%
府支出金	保険給付費等交付金(普通交付金)	4,677,736,256	4,389,257,794	-288,478,462	-6.2%
	保険給付費等交付金(特別交付金)	110,438,000	73,380,000	-37,058,000	-33.6%
	事業助成補助金	7,055,674	6,907,763	-147,911	-2.1%
	計	4,795,229,930	4,469,545,557	-325,684,373	-6.8%
国庫支出金	制度関係業務事業費補助金	0	953,000	953,000	100.0%
	計	0	953,000	953,000	100.0%
繰入金 一般会計	保険基盤安定(軽減分)	261,331,258	275,460,729	14,129,471	5.4%
	保険基盤安定(支援分)	129,659,951	134,262,487	4,602,536	3.5%
	職員給与等	97,528,000	97,081,000	-447,000	-0.5%
	出産育児一時金等	11,455,994	13,566,827	2,110,833	18.4%
	財政安定化支援事業	100,848,000	103,048,000	2,200,000	2.2%
	その他	24,308,000	21,855,000	-2,453,000	-10.1%
	計	625,131,203	645,274,043	20,142,840	3.2%
諸収入		4,435,815	34,921,176	30,485,361	687.3%
歳入合計(単年度収入)		6,601,055,981	6,356,391,557	-244,664,424	-3.7%

## 歳出額比較（平成30年度決算・令和元年度決算見込）

（単位：円）

区分	平成30年度 決算額	令和元年度 決算見込額	差額	伸び率	
総務費	92,583,734	94,200,041	1,616,307	1.7%	
保険給付費	療養給付費	3,903,778,588	3,709,441,990	-194,336,598	-5.0%
	療養費	91,845,824	79,848,311	-11,997,513	-13.1%
	審査支払手数料	9,344,380	9,600,492	256,112	2.7%
	①小計	4,004,968,792	3,798,890,793	-206,077,999	-5.1%
	高額療養費	594,255,025	537,061,492	-57,193,533	-9.6%
	移送費	3,260	0	-3,260	-100.0%
	出産育児諸費	17,191,130	20,360,110	3,168,980	18.4%
	葬祭諸費	4,370,000	3,800,000	-570,000	-13.0%
	精神・結核医療給付費	8,473,408	8,596,507	123,099	1.5%
	②小計	624,292,823	569,818,109	-54,474,714	-8.7%
	計(①+②)	4,629,261,615	4,368,708,902	-260,552,713	-5.6%
国民健康保険事業 費納付金	医療費給付費分	1,234,547,033	1,272,021,405	37,474,372	3.0%
	後期高齢者支援金等分	299,108,677	311,666,092	12,557,415	4.2%
	介護納付金分	105,634,801	124,789,617	19,154,816	18.1%
	計	1,639,290,511	1,708,477,114	69,186,603	4.2%
保健事業費	特定健康診査等事業費	28,320,230	29,841,595	1,521,365	5.4%
	保健事業費	23,096,464	23,480,343	383,879	1.7%
保険給付費等交付金償還金	0	0	0	0.0%	
公債費	1,373,171	1,016,272	-356,899	-26.0%	
諸支出金	132,854,382	7,589,862	-125,264,520	-94.3%	
小計(単年度支出)	6,546,780,107	6,233,314,129	-313,465,978	-4.8%	
基金等積立金	0	0	0	0.0%	
前年度繰上充用金	405,015,931	350,740,057	-54,275,874	-13.4%	
歳出合計	6,951,796,038	6,584,054,186	-367,741,852	-5.3%	

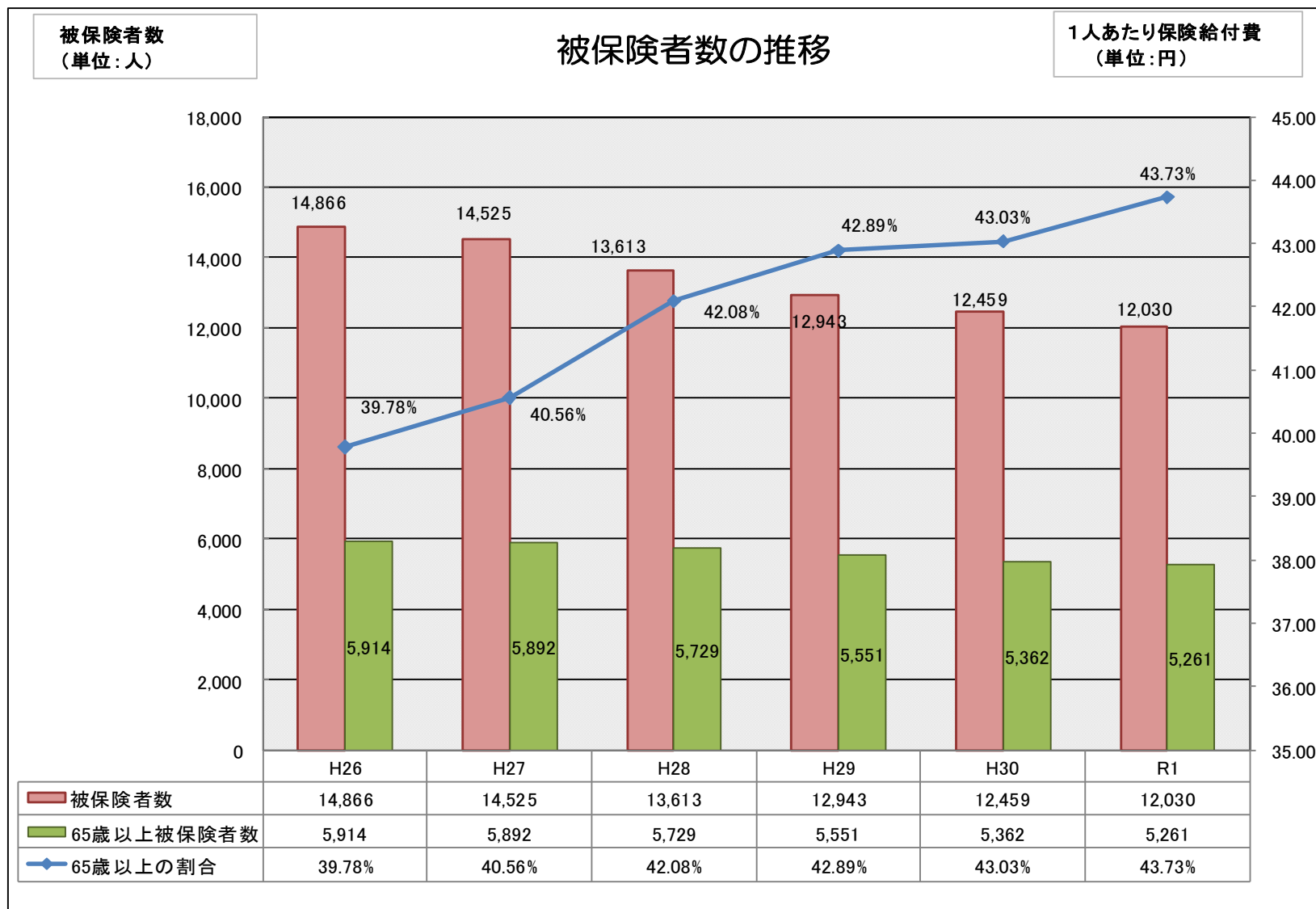
## 歳入歳出総額の比較（平成30年度決算・令和元年度決算見込）

単年度収支差引額	54,275,874	123,077,428	68,801,554	126.8%
収支差引額	-350,740,057	-227,662,629	123,077,428	-35.1%

# 高石市国民健康保険 財政健全化に向けての取り組み状況 (令和元年度)

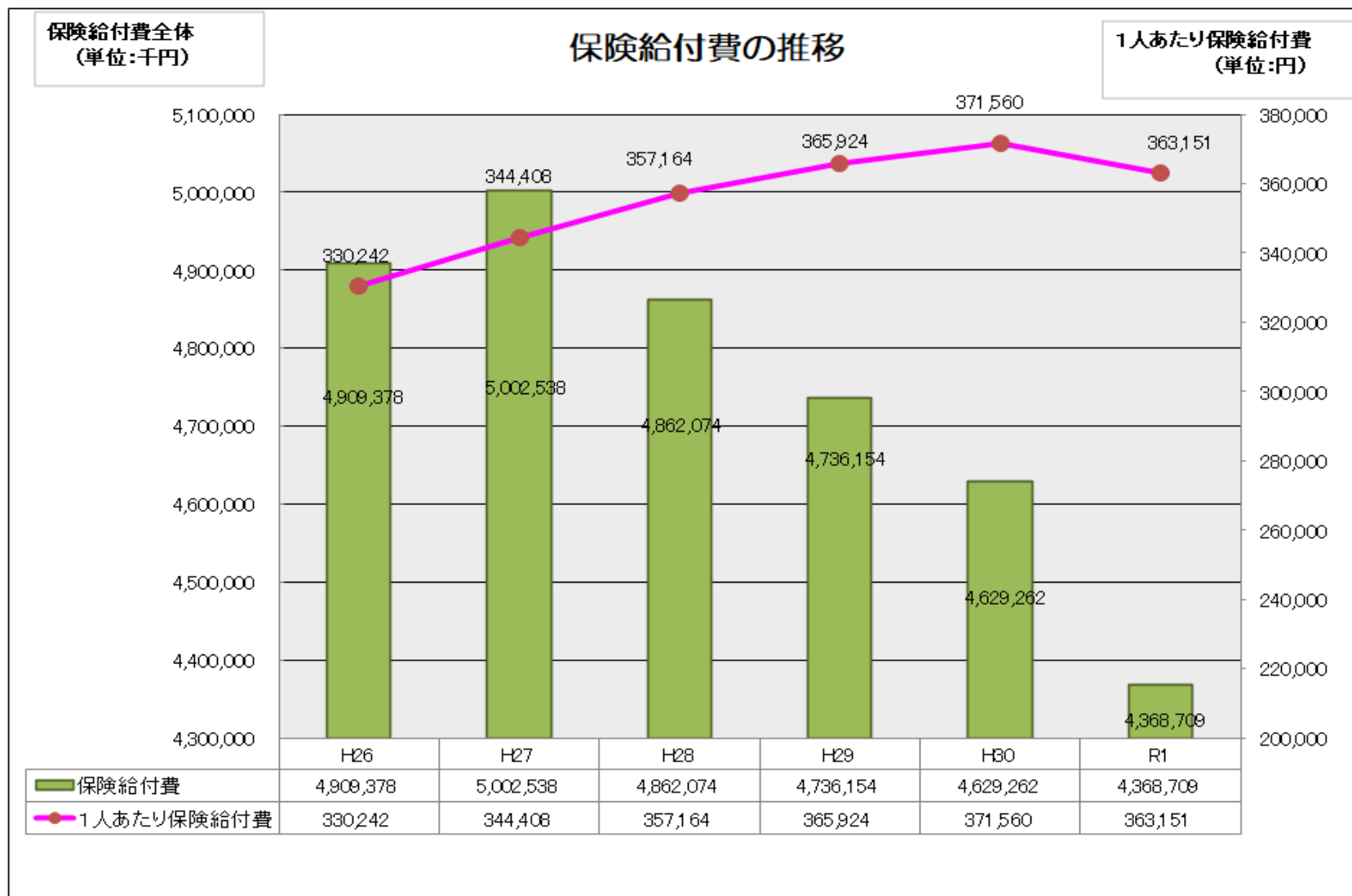
## ◎被保険者数の推移

社会保険加入資格の拡大により、被保険者数は減少傾向ですが、全被保険者数に占める65以上の被保険者加入割合は増加傾向にあります。



## ◎保険給付費の推移

被保険者数の減少に比例して、保険給付費が減少している。一方で、一人あたりの保険給付費は昨年度まで増加していたが、令和元年度は減少となった。



## 保険給付費の推移（月別）

単位：千円

月	H27	伸率 (%)	H28	伸率 (%)	H29	伸率 (%)	H30	伸率 (%)	R1	伸率 (%)
4	397,670	0.3%	411,614	3.5%	420,223	2.1%	499,072	18.8%	429,651	-13.9%
5	419,908	-3.4%	416,625	-0.8%	396,944	-4.7%	393,932	-0.8%	378,113	-4.0%
6	396,998	-6.0%	399,873	0.7%	404,997	1.3%	404,222	-0.2%	363,656	-10.0%
7	405,077	-2.9%	400,170	-1.2%	396,976	-0.8%	363,887	-8.3%	389,904	7.1%
8	433,560	7.6%	401,348	-7.4%	401,585	0.1%	371,146	-7.6%	377,118	1.6%
9	421,880	1.3%	399,933	-5.2%	398,218	-0.4%	382,621	-3.9%	356,598	-6.8%
10	419,221	6.1%	397,123	-5.3%	389,036	-2.0%	373,165	-4.1%	343,960	-7.8%
11	416,238	6.4%	397,587	-4.5%	399,603	0.5%	422,737	5.8%	347,468	-17.8%
12	430,248	0.8%	399,460	-7.2%	410,854	2.9%	375,816	-8.5%	355,917	-5.3%
1	426,526	9.2%	437,580	2.6%	376,639	-13.9%	382,408	1.5%	372,876	-2.5%
2	412,709	-0.2%	409,793	-0.7%	396,441	-3.3%	368,987	-6.9%	353,332	-4.2%
3	422,503	2.8%	390,968	-7.5%	344,638	-11.9%	291,604	-15.4%	300,116	2.9%
<b>計</b>	<b>5,002,538</b>	<b>1.9%</b>	<b>4,862,074</b>	<b>-2.8%</b>	<b>4,736,154</b>	<b>-2.6%</b>	<b>4,629,597</b>	<b>-2.2%</b>	<b>4,368,709</b>	<b>-5.6%</b>
被保険者数	14,525	-2.3%	13,613	-6.3%	12,943	-4.9%	12,459	-3.7%	12,030	-3.4%
世帯数	8,580	-0.7%	8,158	-4.9%	7,855	-3.7%	7,661	-2.5%	7,481	-2.3%
<b>1人当たり 給付費</b>	<b>344,409</b>	<b>4.3%</b>	<b>357,164</b>	<b>3.7%</b>	<b>365,924</b>	<b>2.5%</b>	<b>371,587</b>	<b>1.5%</b>	<b>363,151</b>	<b>-2.3%</b>

## ◎保険給付費の推移と抑制の取組み

### 保険給付費の推移

65歳以上の加入割合は依然として増加している。1人あたり保険給付費の伸び率は年々減少していたが、令和元年度においては▲2.3%の伸びとなった。

H28	⇒	H29	2.5%
H29	⇒	H30	1.5%
H30	⇒	R1	▲2.3%



## 医療費抑制の主な取組

### 平成25年度～ 医療費適正化施策の強化

レセプト点検強化、ジェネリック医薬品普及促進  
糖尿病重症化予防事業等

### 平成26年度～ 健幸ポイント事業開始

### 平成27年度～ 特定健診受診勧奨通知

### 平成28年度～ 特定健診受診の無料化

## 取り組み結果

### 特定健診受診率向上

平成26年度 22.7%

令和元年度 35.0%

### ジェネリック医薬品推進

平成27年度 59.2%

令和元年度 72.5%

## 医療費の3要素分析

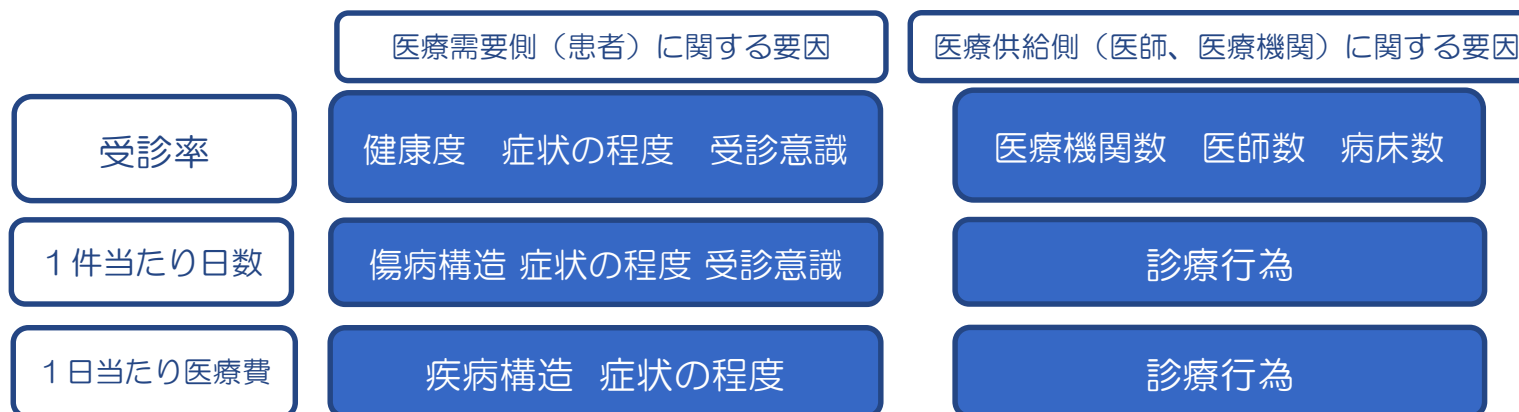
医療費の3要素分析では、入院にかかる「1件あたり日数」と「1日あたり診療費」の減少が顕著であった。

◎医療費の3要素による分析

資料：国民健康保険事業月報より速報値

		H27	H28	H29	H30	R1
1人あたり件数（受診率）	入院	26.22%	27.28%	28.78%	27.17%	28.36%
	入院外	885.13%	878.18%	889.94%	863.54%	906.63%
	歯科	211.26%	213.00%	221.87%	223.91%	237.96%
1件あたり日数	入院	16.94	16.99	17.10	17.44	16.58
	入院外	1.70	1.67	1.65	1.61	1.58
	歯科	1.95	1.94	1.91	1.86	1.83
1日あたり診療費	入院	32,215	32,385	32,294	33,931	33,408
	入院外	9,185	9,262	9,366	9,692	10,073
	歯科	7,313	7,419	7,506	7,594	7,785

### ▼分析の着眼点



## ◎健全化の取組内容と目標・実績

健全化の取組内容と目標・実績											
項目	内容	実施年度	目標	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
収納対策	収納率の向上	-	-	91.41%	92.38%	92.45%	92.78%	93.39%	93.41%	93.81%	
	口座振替の推進	平成25年度～	10,000千円	5,036千円	10,592千円	15,729千円	13,448千円	16,159千円	14,262千円	16,093千円	平成24年度比（ペイジー導入前）増加額
	滞納分収納額	平成23年度 33,673千円	20,000千円	18,260千円	19,866千円	14,246千円	11,557千円	15,562千円	14,767千円	15,798千円	平成23年度比増加額
	滞納整理の強化	平成25年度～		479千円	2,282千円	0円	565千円	1,915千円	1,371千円	188千円	滞納処分額
	滞納分収納率	-	-	4.67%	5.11%	4.95%	5.14%	6.20%	6.24%	6.68%	
医療費の適正化	レセプト点検の充実強化	平成25年度～	20,000千円	32,662千円	23,227千円	39,107千円	33,535千円	29,188千円	39,851千円	29,058千円	レセプト点検効果額
特定健診受診率の向上	健診項目の充実	平成25年度～	高石市国保独自の追加検査項目クレアチニン、尿酸等7項目の検査項目を追加実施。								
	特定健診受診PRの強化	平成27年度～	受診勧奨通知方法変更・健幸ポイント事業開始・自己負担額無料化								
	受診率	平成25年度～	-	22.30%	22.70%	27.80%	34.50%	36.60%	34.60%	35.01% (見込)	
特別調整交付金の確保	評価基準の実施	平成25年度～	20,000千円	国 52,165千円	国 54,186千円	国 56,157千円	国 22,725千円	国 53,539千円	国 61,854千円	国 38,128千円	平成23年度国・府特別調整交付金を基準とした差額
				府 50,780千円	府 75,737千円	府 59,077千円	府 70,405千円	府 61,244千円	府 30,364千円	府 24,206千円	
一般会計からの法定外繰入の実施		平成25年度～	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	24,308千円	21,855千円	

## 特別調整交付金の確保

平成30年度より、新制度に移行したため、評価基準が変更となっている。

### 【国庫】

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	満点885点	満点935点	満点975点	満点975点	満点850点	満点920点
府下順位	6位	18位	20位	15位	16位	16位
点数	675点	660点	720点	775点	496点	497点
交付金額	88,745千円	90,716千円	57,284千円	88,098千円	67,854千円	38,128千円

### 【府費】

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	満点300点	満点300点	満点300点	満点300点	満点500点	満点500点
府下順位	17位	23位	29位	13位	34位	23位
点数	208点	225点	228点	265点	213点	250点
交付金額	112,194千円	95,534千円	106,862千円	97,701千円	30,364千円	24,206千円

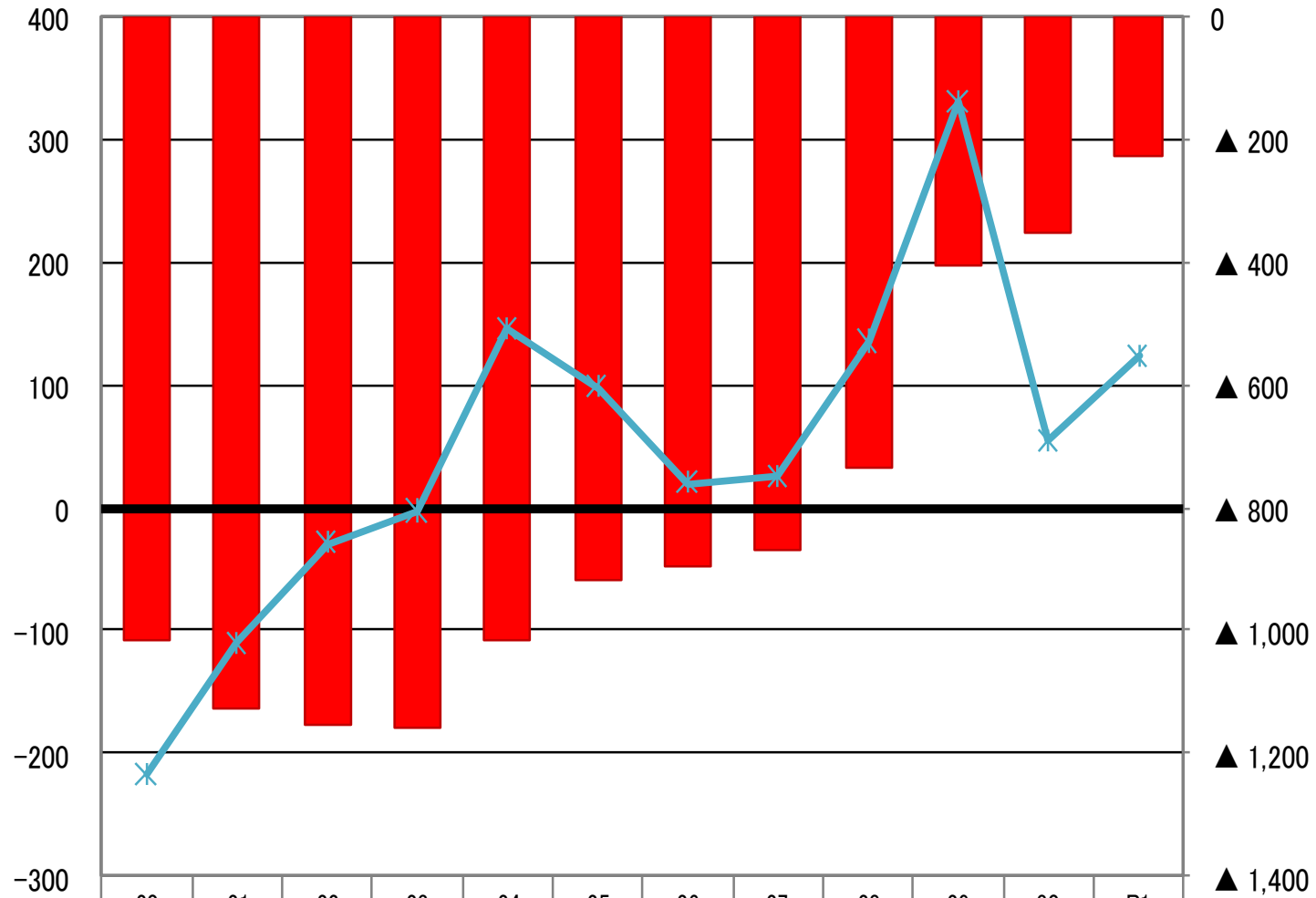
# 国保財政健全化に向けての今後の課題

- ① 保健事業の推進
  - ・ 病気の早期発見・早期予防  
（若年層の特定健診・がん検診受診率向上）
  - ・ 重症化予防の取組み
  - ・ 市民の健康意識向上（健幸づくり施策の推進）
- ② 収納率の向上
- ③ 国や府からの交付金確保

# 国保特会収支の状況

単年度収支(百万円)

累積赤字額(百万円)



▲ 累積赤字額(百万円)	▲ 1,016	▲ 1,127	▲ 1,156	▲ 1,159	▲ 1,014	▲ 916	▲ 895	▲ 869	▲ 735	▲ 405	▲ 351	▲ 228
▲ 単年度収支(百万円)	▲ 218	▲ 111	▲ 29	▲ 3	145	98	20	25	135	330	54	123

# 高石市国民健康保険 データヘルス計画（第2期） 令和元年度・令和2年度

令和2年度（第1回）  
国民健康保険運営協議会資料

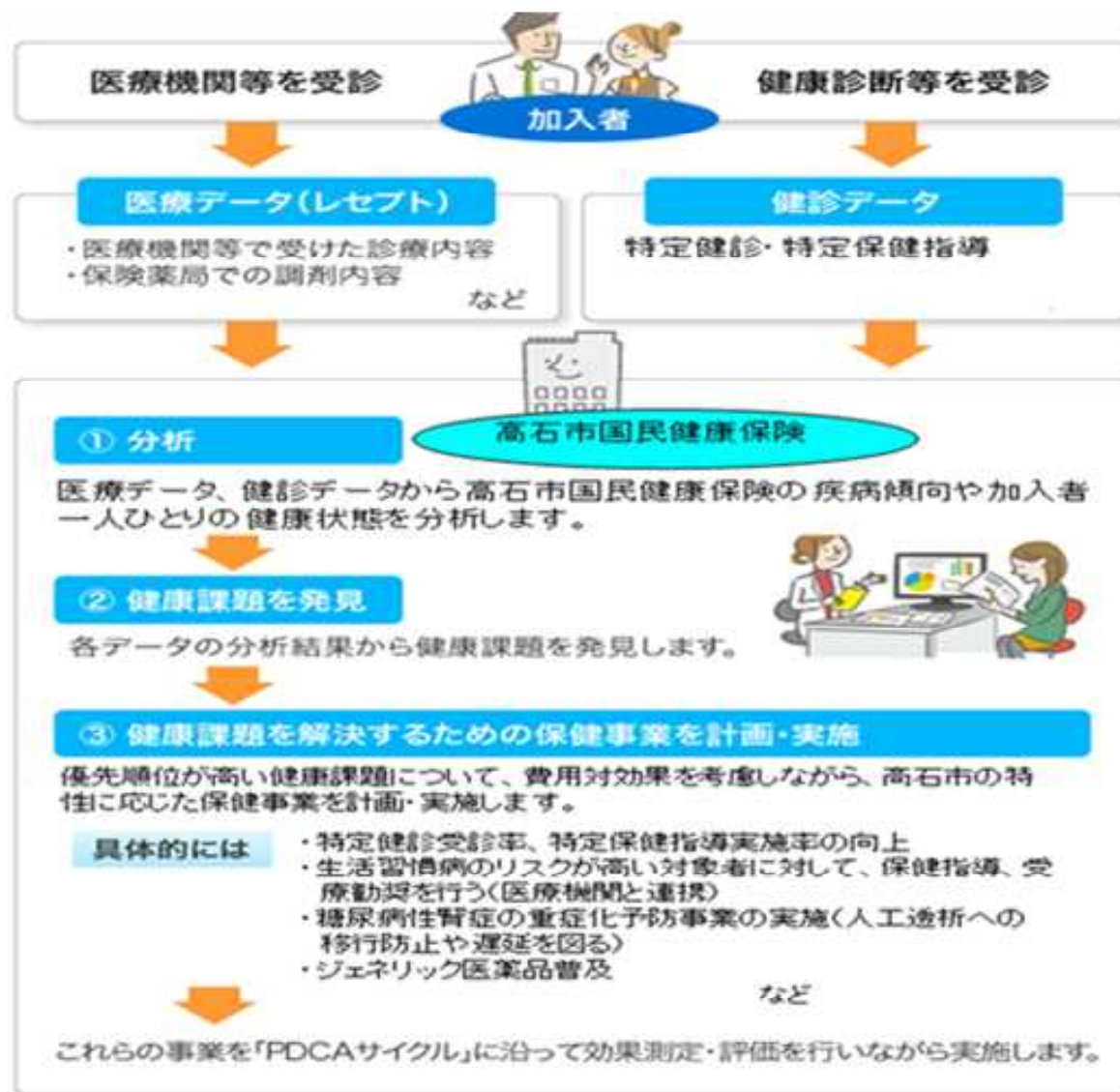
## 1. データヘルス計画について

### 2. 令和元年度事業報告

- ①特定健診受診率の向上
- ②特定保健指導実施率の向上
- ③生活習慣病予防対策
- ④その他の保健事業

### 3. 令和2年度実施計画について

- ①予防・健康づくり支援交付金について
- ②令和2年度実施計画の概要



# 令和元年度事業報告 ①特定健診受診率の向上

## ① 受診勧奨通知の実施

未受診者をタイプ別に分類し特性に応じた勧奨通知およびショートメッセージサービス配信。

勧奨通知年3回 SMS年1回 のべ13,900通

### 新規取組

- 1) イベント型健診に合わせた通知
  - 2) SMS配信717件\*
- \* 通知を読まない可能性のある対象者へ新たなアプローチの方法としてトライアル実施  
→市の特定健診ホームページに直接アクセスし集団健診のネット予約が可能に！



## ② 集団健診全日程でがん検診同時実施

集団健診11回全日程で肺がん検診を同時実施。うち5回は、胃・肺・大腸がん検診を同時実施。

### 新規取組

肺がん検診は、特定健診当日希望者に予約なしで受診できる環境とした。

## ③ 企業と連携したイベント型健診の実施

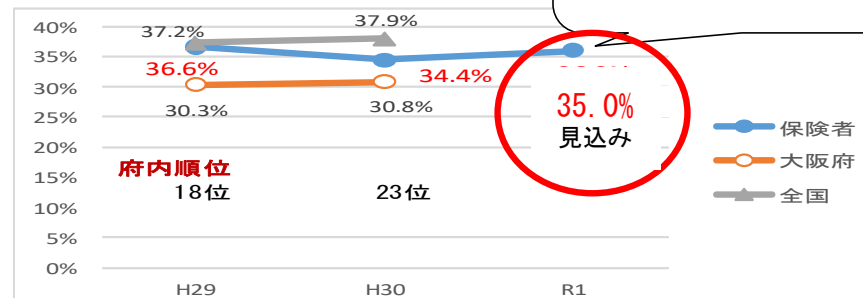


### 新規取組

12月土曜日に特定健診と同時に目の健康・介護相談・アロマストレッチ体験コーナー等企業と連携した健康教育を開催。

**実績** 47人受診  
受診率0.57% ↑

## 【特定健診受診率の推移】





# 令和元年度事業報告 ②特定保健指導実施率の向上

## ① 特定健診から特定保健指導までの期間短縮

平成30年度まで…平均3～5か月  
令和元年度から…平均1.5～3か月

## ② 特定保健指導年間実施回数を増やしてすべての対象者へ参加機会を確保

### 実績 ①と②の取り組み

平成30年度特定保健指導参加者 58人  
令和元年度特定保健指導参加者 **66人**

## ③ 人間ドック機関での健診日当日に特定保健指導実施

実績 **14人に実施**

## ④ 集団健診当日に特定保健指導実施



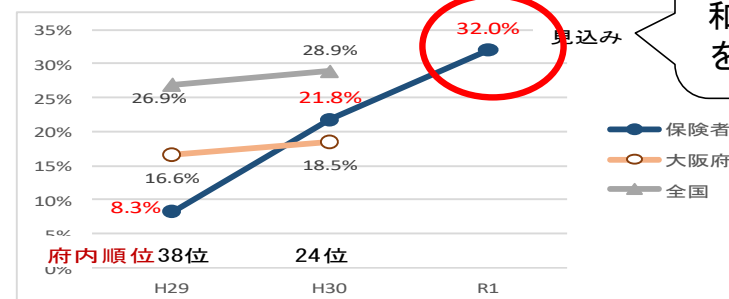
実績 **14人に実施**

集団健診当日結果で特定保健指導対象者になった被保険者に健診医から特定保健指導を受けるように勧奨



健診当日に特定保健指導の面談が可能に

### 【特定保健指導実施率の推移】



特定健診等実施計画(第3期)の令和2年度目標23.5%をクリア

### ③生活習慣病重症化予防対策（高血圧・糖尿病対策）

#### (1) 特定健診後の治療勧奨事業（大阪府非肥満血圧高値者・血糖高値者受診勧奨推進事業）

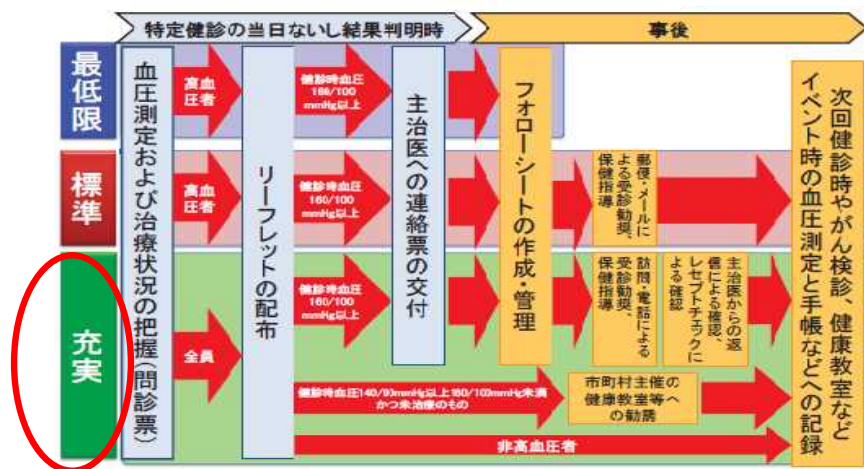
- ・ 特定健診の受診結果（血圧・血糖値）が一定基準を超えており、医療機関への受療状況確認が必要又は受療勧奨が必要な被保険者を抽出し、文書送付後、電話・面談・訪問でフォローを行う。

令和元年度実績（大阪府への報告より）

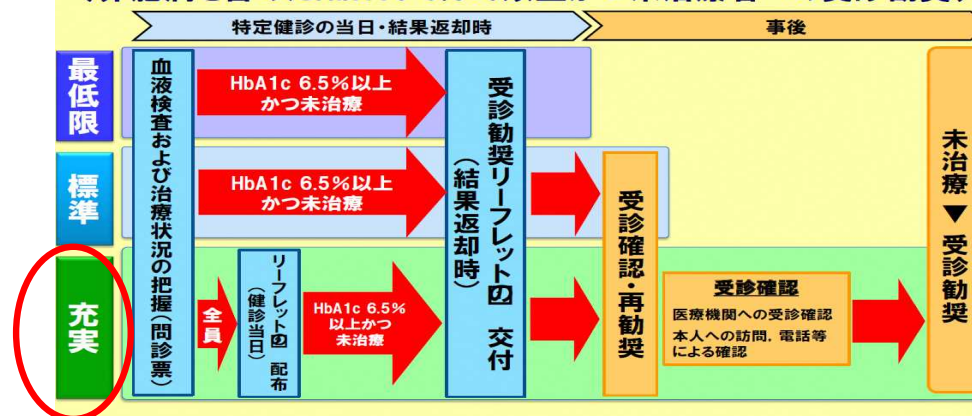
**実績** 事業対象者数：61人 受療勧奨人数61人（100%）うち受療確認終了数48人（78.6%）  
 （未了者13人のうちレセプトで受診確認11人、連絡がとれなかった者2人）

### 大阪府の受診勧奨推進事業・・・充実コースを実施

特定健診の場を利用した高血圧対策



特定健診の場を利用した糖尿病対策  
 （非肥満を含めたHbA1c 6.5%以上かつ未治療者への受診勧奨）

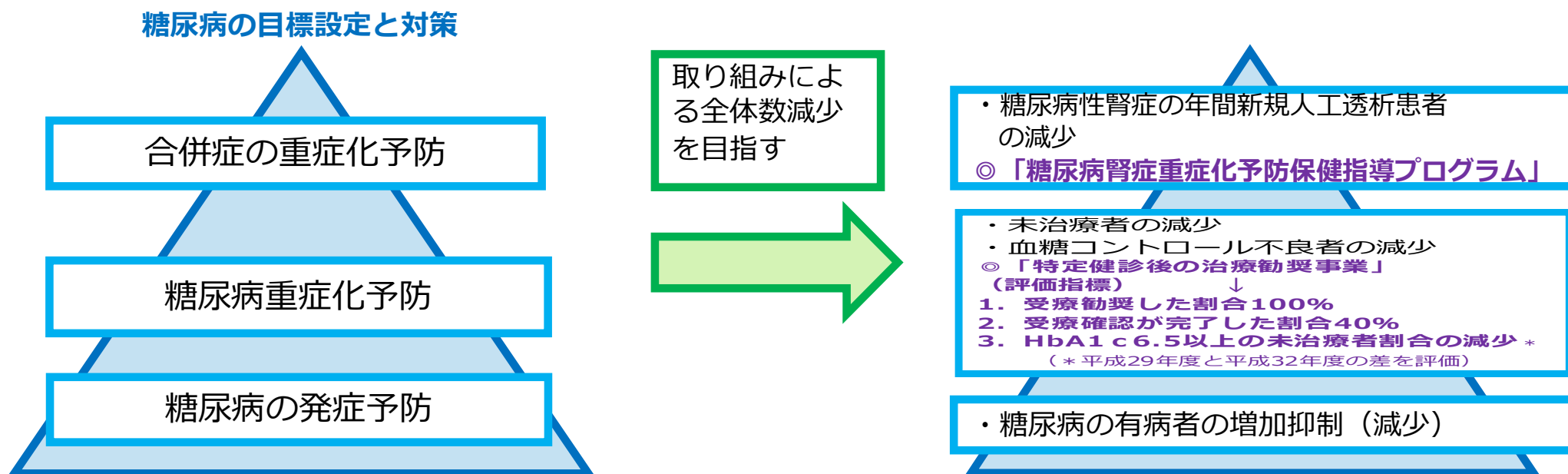


## (2) 糖尿病性腎症重症化予防指導プログラム

- ・糖尿病治療中で、糖尿病の合併症のひとつである糖尿病性腎症の方を、レセプトと特定健診データから抽出しかかりつけ医の指示のもと、食事、運動などの生活改善に関する支援を6か月間実施。

平成25年度から令和元年度まで83人が参加し終了者は78人（対象者数1,121人） 令和元年度参加者10人（全員終了）

**実績** 支援終了者から人工透析以降者は0人



## ④その他の保健事業

### (1) 後発医薬品普及による医療費適正化

○ジェネリック医薬品差額通知カードの配布 (年1回 全世帯)

○ジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知の実施 (年4回 通知のべ件数2,710件)

**新規取組** 1月に花粉症に焦点を絞った通知を実施 (435件)

**実績** 後発医薬品普及数量ベース 74.8% (前年対比4.5%↑)  
国2020年10月目標値80%



### (2) 服薬情報の通知 **新規取組**

○重複多剤服薬している60歳以上の被保険者へ、

かかりつけ薬剤師に薬の相談や調整を促す通知を実施

年1回 423件

このお知らせは、多くの薬を服用されている方へお送りしています。

この通知書は、服用(使用)されていた薬の情報を記載しています。複数の医療機関に受診されている場合、それぞれの医療機関等では、処方箋について適切な管理がなされていますが、服薬していたすべての薬を見た場合、同じ成分の薬や薬同士の飲み合わせが悪い等の問題が起こる場合があります。それらを防ぐためにかかりつけ医・かかりつけ薬剤師にすべての薬を知ってもらった上で、適切に処方してもらうことが大切です。処方薬すべてを記載しているこのお知らせを薬剤師に見せてください。

**STEP 1** 本書を  
かかりつけ薬局へ。  
薬の飲み合わせなどの  
相談ができます。

**STEP 2** 薬の管理をお願いします。  
薬の管理、複数病院  
への連絡、医師との  
相談  
かかりつけ薬局では色々な事をしてくれます。

かかりつけ薬局と相談して、安心してお薬と付き合しましょう。

【本通知書に関するお問い合わせ(サポートデスク)】 10:00~17:00 土・日・祝日・年末年始を除く  
フリーダイヤル 0120-XXX-XXX  
※サポートデスクは、[個人情報]データホライゾンに委託しています。

### 3. 令和2年度実施計画について

**人生100年時代を見据え、保険者努力支援支援制度 予防・健康づくり事業を抜本的に強化**

**▶ 交付上限額の拡大（補助率10/10） （予防・健康づくり支援交付金）**

600万円→2,025万円

**▶ 重点事業の位置づけ**

**①【重点】国が特に推進する生活習慣病対策**

- ・ 特定健診未受診者対策、特定保健指導未利用者対策、  
受診勧奨値を超えている者への受診勧奨、早期介入保健指導  
特定健診40歳前勧奨

**③ 国保一般事業**

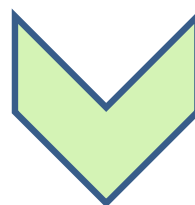
- ・ 保健指導…禁煙支援、重複・多剤服薬者
- ・ 地域包括ケアシステムを推進する取組

**②【重点】生活習慣病予防対策**

- ・ 糖尿病性腎症重症化予防

**④【重点】効果的なモデル事業**

- 都道府県の指定を受けて実施する先進的な保健事業
- ・ フレイル予防事業
- ・ 企業と連携した健康教育



**①から④を組み合わせて実施することで保健事業の拡充実施が可能**

### 3.令和2年度実施計画の概要 -その1 特定健診受診率の向上

データヘルス計画（第2期）の最も優先度の高い保健事業として、特定健診受診率の向上を位置づけ事業実施。



第3期特定健診等実施計画の目標値は未達成。  
平成30年度府内順位は23位である。



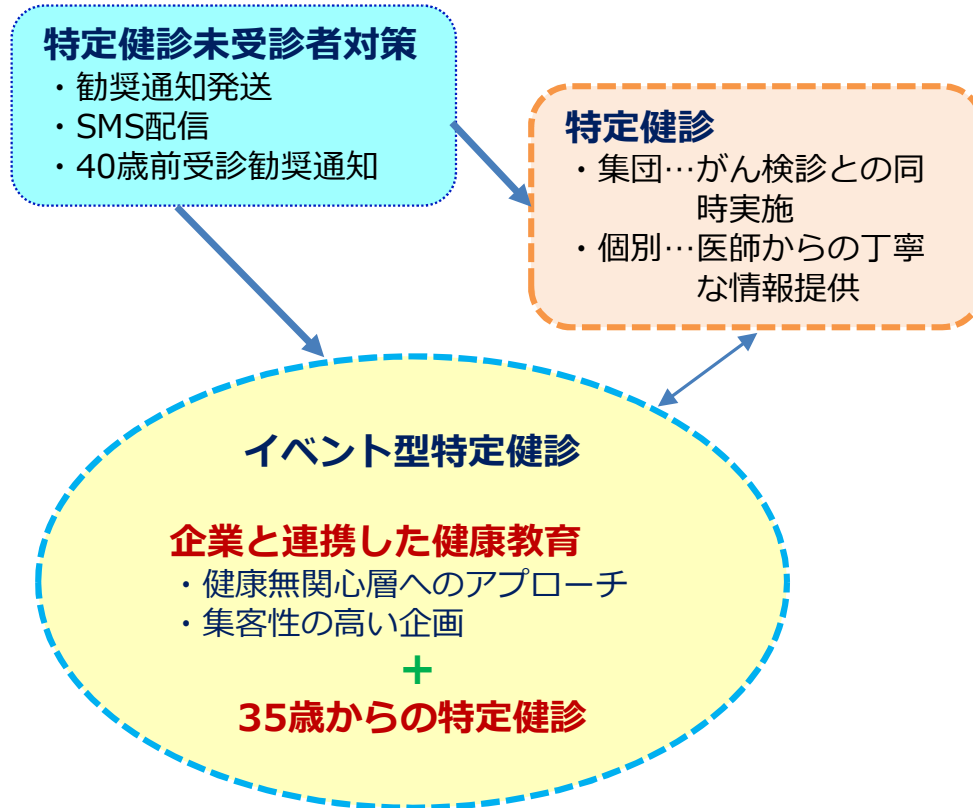
従来の方策をブラッシュアップするとともに効果的に受診率向上を促進する必要がある。

#### ○令和2年度の方診率向上対策

- ①35~39歳対象の特定健診実施 **新規事業**
- ②40歳前受診勧奨 **新規事業**
- ③受診勧奨通知・SMS送信の本格的実施 **充実実施**
- ④イベント型特定健診（企業と連携した健康教育） **充実実施**
- ⑤高石市医師会・和泉保健所との連携 **充実実施**

特定健診等実施計画第3期目標

**令和2年度特定健診受診率目標値 40.5%**



複数の事業を組み合わせ関係機関と連携しながら受診率の向上を目指す。

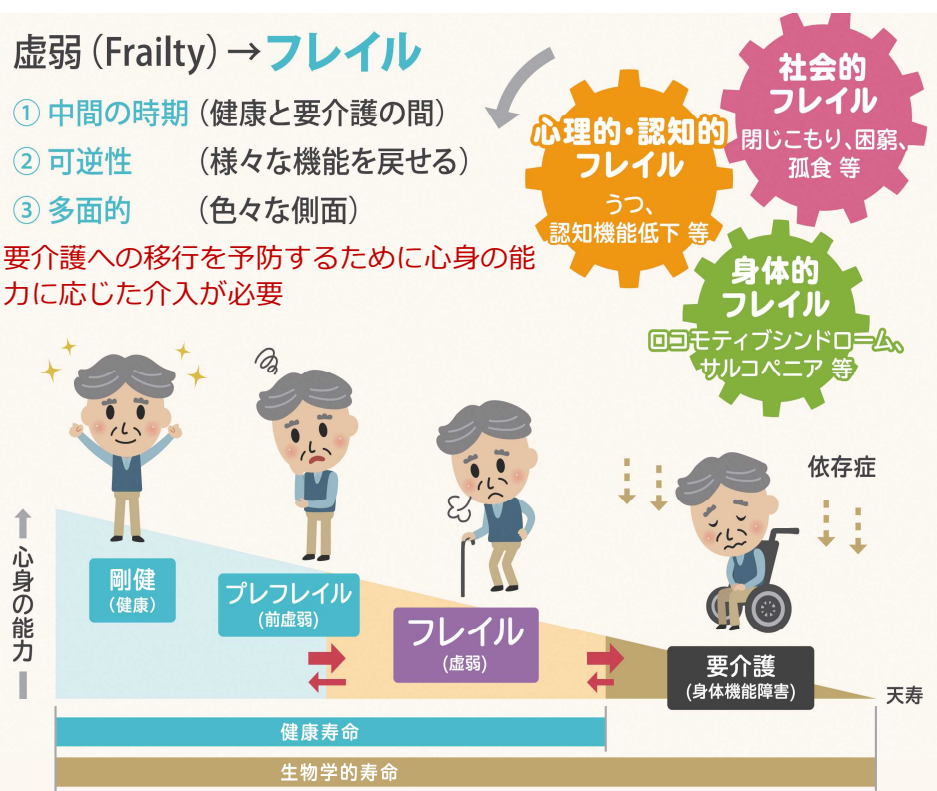
### 3.令和2年度実施計画の概要 -その2 フレイルに着目した保健事業

フレイル= (加齢に伴い) 筋力や心身の活動が低下した状態

#### 虚弱 (Frailty) → フレイル

- ① 中間の時期 (健康と要介護の間)
- ② 可逆性 (様々な機能を戻せる)
- ③ 多面的 (色々な側面)

要介護への移行を予防するために心身の能力に応じた介入が必要



※葛谷雅文 日老医誌 46: 279-285, 2009より引用改変  
 ※東京大学高齢社会総合研究機構・飯島勝矢 作成

#### (1) 介護リスク要因分析事業 **新規事業**

- ・医療費の視点から介護原因の分析  
 →介護への移行を予防または重症化を防げる保健事業のアプローチが可能か把握

#### (2) 骨折・骨粗しょう症重症化予防事業 **新規事業**

- ・身体的フレイルの原因のうち、骨折・骨粗しょう症については
    - 定期治療を継続すること
    - 骨粗しょう症の薬の服薬を中断しないこと  
 により、再骨折や骨粗しょう症の進行により要介護状態への移行を予防できる可能性が高い。
- ↓
- ・治療中断者に文書送付するとともに専門職による電話支援を実施。  
 実施予定人数：文書送付30名 電話支援5名

### 3.令和2年度実施計画の概要 その他の保健事業

(1) **特定保健指導の実施率向上**…継続実施

(2) **生活習慣病重症化予防対策**…継続実施

(3) **後発医薬品普及による医療費適正化**…継続実施

(4) **服薬情報通知+重複多剤服薬者への保健指導**…令和元年度の服薬通知に加え、専門職による保健指導を開始：**新規事業**

⇒被保険者に薬の処方状態の通知を行い、かかりつけ薬剤師に相談を促すとともに、特に薬の数が多い方には保健師・看護師による面談支援を実施。 服薬通知実施予定数 600通 面談支援 5~10名